



## 安全・安心を実感できる 地域社会をつくる！

生活安全総務課 防犯環境対策係  
平成25年採用 主任  
西南学院大学 卒業

### 警察行政職員になったきっかけは？

幼い頃から「地域の安全を守る」という警察官に憧れを持っていましたが、大学生のときに腰を悪くし、警察官になることを諦めていました。

その後、就職活動を行っているときに、福岡県庁のホームページで「警察行政」の職員を募集していることを知り、警察組織で行政面から地域を守ることができることに魅力を感じて警察行政の採用試験を受験しました。

### 現在の仕事について教えてください。

私は、生活安全総務課で地域の防犯ボランティア団体の支援に関する業務を行っています。

「地域の安全を守る」という目的の下、防犯ボランティアの方々とは様々な取組みを行っていますが、ボランティアの高齢化や次世代の担い手が不足しているなど多くの課題があります。

以前、学生防犯ボランティアの方々との意見交換の場に参加したときに、警察の目線からは考えもつかない意見や、若い防犯ボランティアが少ない現状をなんとか打破しようとする姿勢に刺激を受けて、私も防犯ボランティアの方々のかになれるよう全力で取り組んでいるところです。

### 職場環境はどのようなですか？

現在の職場は、若手の職員も多く、非常に活気のある職場です。目の前の課題に対して、担当者一人で抱えるのではなく、みんなで知恵を絞り、より良い結果が出るように業務を進めています。

また、組織全体で職員の仕事と余暇の調和を図れるようにワークライフバランスを積極的に推進していることもあり、勤務中は、目の前の業務に集中して打ち込むことができます。

また、休日は、スポーツをして体を動かしたり、趣味に没頭するなど心身をリフレッシュさせ、翌週の仕事に備えています。

### 警察行政職員を目指す方にメッセージをお願いします。

警察には、警察官、警察行政職員の職種があり、どちらも業務が多岐にわたるので、自分の長所を活かすことができる業務は必ずあると思います。

また、警察の業務は、県民をはじめ、多くの方々に関わりますので、様々な価値観や知識に触れ、自分をより成長させることができます。

元々警察官を希望していた私ですが、警察行政という立場でも警察活動の一翼を担っていることを実感でき、警察組織の企画・運営にも携わることのできるとても魅力的な職業だと感じます。

警察官とはまた違った立場で、警察組織で働きたいと思う方は、警察行政の採用試験を受験してみたいかがですか。